＜農業生産法人、集落営農組織の育成を目標としている事例＞

○集落ぐるみの農地保全と営農組合の育成

１．集落協定の概要

市町村･協定名	岐阜県恵那市・西組集落協定			
協定面積 25.4ha	田（100%） 25.4ha	畑	草地	採草放牧地
交付金額 万円 533	個人配分	159万円		３０％
	共同取組活動 （70%） 374万円	役員報酬		７％
		研修会費		１７％
		道水路管理費		４％
		機械購入積立		４３％
協定参加者	農業者４５人、水利組合（構成員　人）、非農業者５人			

２．集落マスタープランの概要

［活　動　内　容］

農業生産活動等

- 農地の耕作・管理（田25ha）
  個別対応
- 水路・作業道の管理
  ・水路4km、年2回
  清掃、草刈り
  ・道路6km、年3回草刈り
  共同取組活動
- 農地法面の定期的な点検
  （年２回及び随時）
  共同取組活動

多面的機能増進活動

- 周辺林地の下草刈り
  （約0.5ha、年1回）
  個別対応
- 景観作物作付け
  （景観作物として畦畔に花苗を約1a作付けた。）
  共同取組活動

農業生産活動の体制整備

- 集落営農組織の育成
  （作業面積目標7.6ha）
  トラクター・草刈機の購入
  共同取組活動
- 共同取組活動

集落外との連携

○集落内の農家に農作業委託等ができない場合には、集落外の農家との連携を図り、農作業委託等を推進する。

３．取組の経緯及び内容

恵那市西組集落は、平成１０年度に土地改良事業が完了し、用排水管理組合が設立され、非農業者を含めた集落での管理を行っていた。

農地の傾斜が急であるため、農作業の効率が悪く、作業も重労働なため高齢化等による耕作放棄地の発生が心配されていた。

中山間地域等直接支払制度を活用し、農業資源・農地の保全に取り組むため、集落協定を締結することとなった。

平成１７年度の新対策からは、集落営農組織の設立に向けて活動を行っている。

○農用地等保全マップ（１２ポイント　ＭＳ明朝（標準））

【マップの解説】

水路・農道の管理

全協定農地を集積の対象

用排水路の清掃作業

そばの植栽

［平成21年度までの取組目標］

○集落営農組合の設立
（１組織、集積面積目標7.6ha（協定農用地面積の３０％））